Qlik Sense 演習

2018年度　DPC研究班　北九州セミナー

産業医科大学　公衆衛生学教室　村松圭司

本日の内容

- Qlik Senseを使って、様式１とHファイルを結合して分析する環境を構築する
  - データの読み込み
  - テーブル結合
  - 変数の作成
  - 表やグラフの作成
    - 各ページの画像はGIFアニメーションです。「gif_anime」フォルダに格納しています。
    - 完成したファイルも同梱しています。C:¥Users¥ユーザ名¥Documents¥Sense¥Appsに保存するとQlikSense側から閲覧できます。

このようなアプリを作成します

手術有無

手術あり

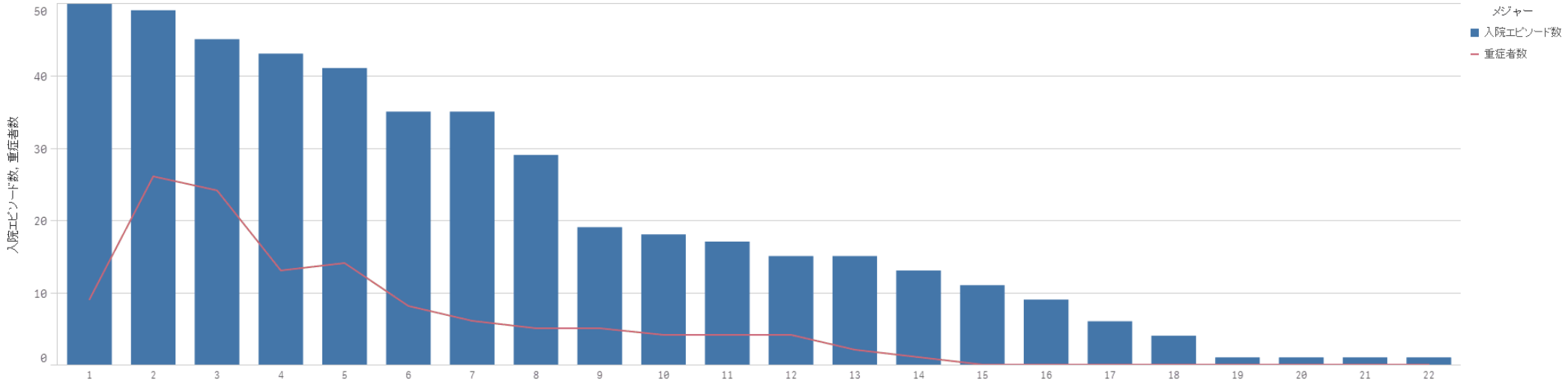
手術なし

病棟コード

5S

6E

4(6)医療資源を最も投入した傷病(ICD10)	手術有無	入院エピソード数	平均在院日数
合計		50	9.2
C220	手術あり	8	9.8
C220	手術なし	8	5.4
C163	手術あり	4	9.0
C162	手術あり	3	10.0
C187	手術あり	3	16.0
C240	手術あり	3	11.0
C20	手術あり	2	9.5
C20	手術なし	2	2.5
C187	手術なし	2	3.5
C250	手術あり	2	7.5
C19	手術あり	1	11.0
C151	手術あり	1	22.0
C151	手術なし	1	7.0

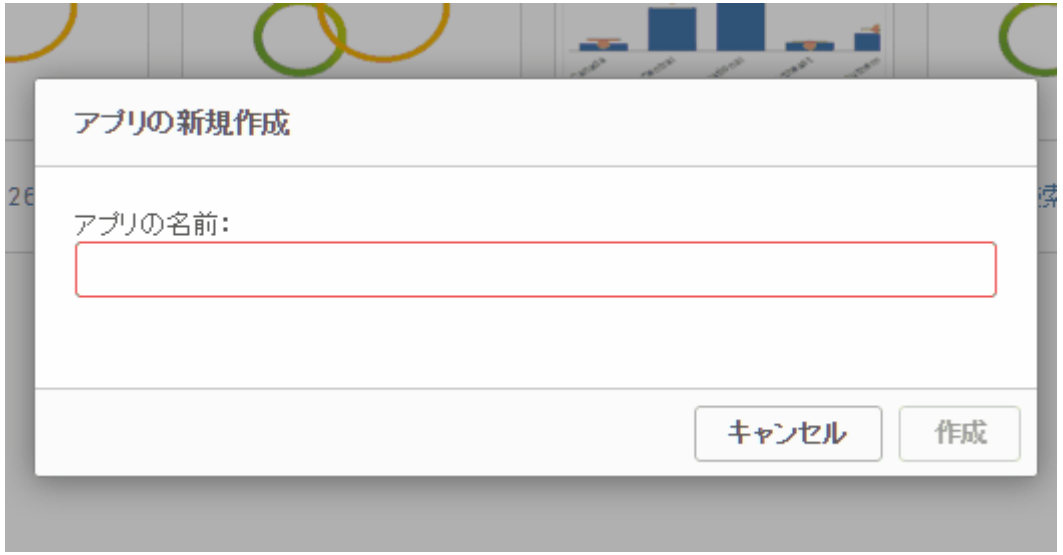


Qlik Senseを起動

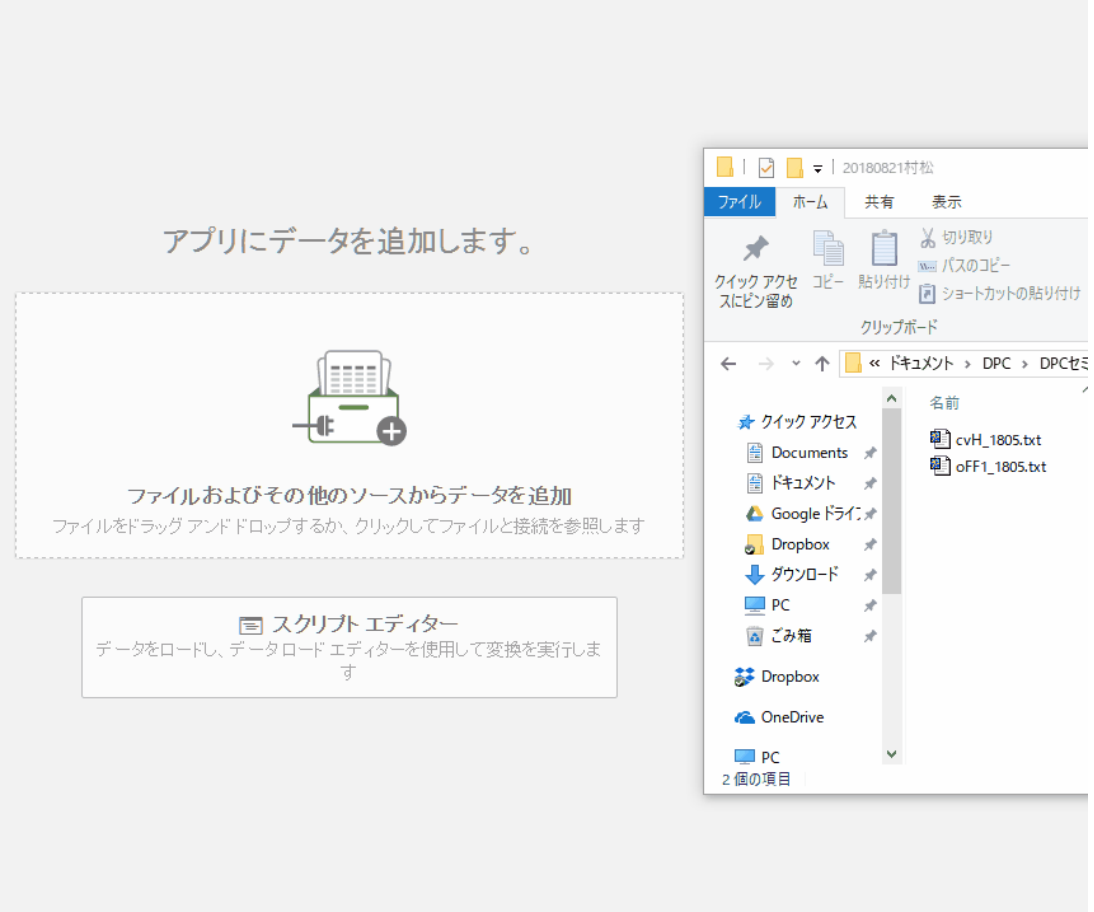
- 起動時にログインが必要です
  - インターネット環境が必要

アプリの新規作成

アプリ名を入力し「作成」をクリック

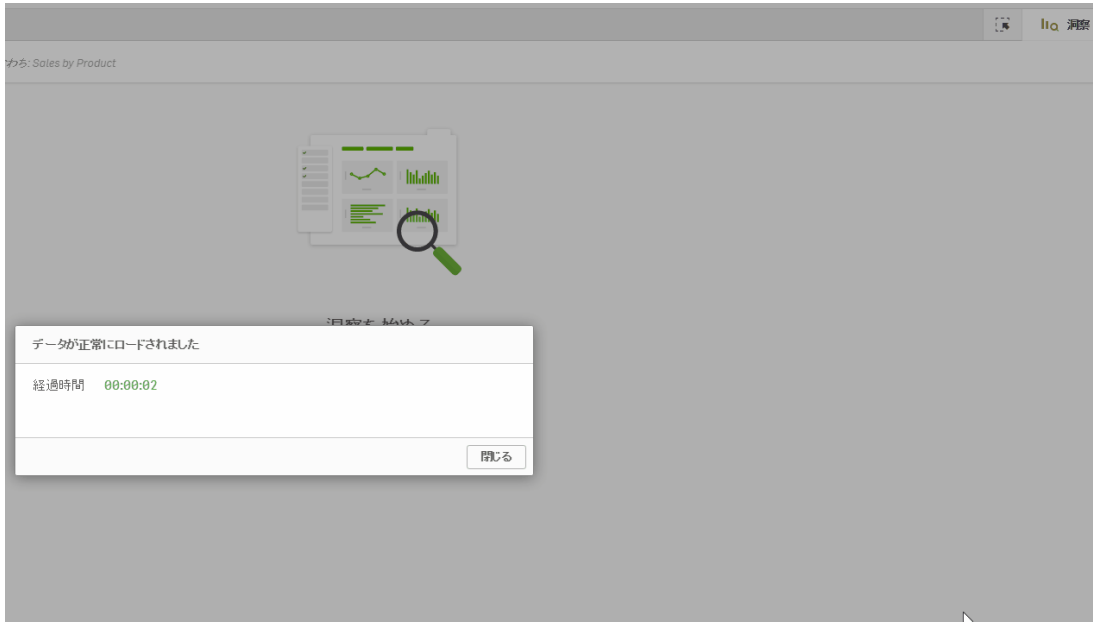


加工済み様式１の読み込み



- 様式１は項目数が多すぎるためプレビューできない
- そのまま「データの追加」をクリック

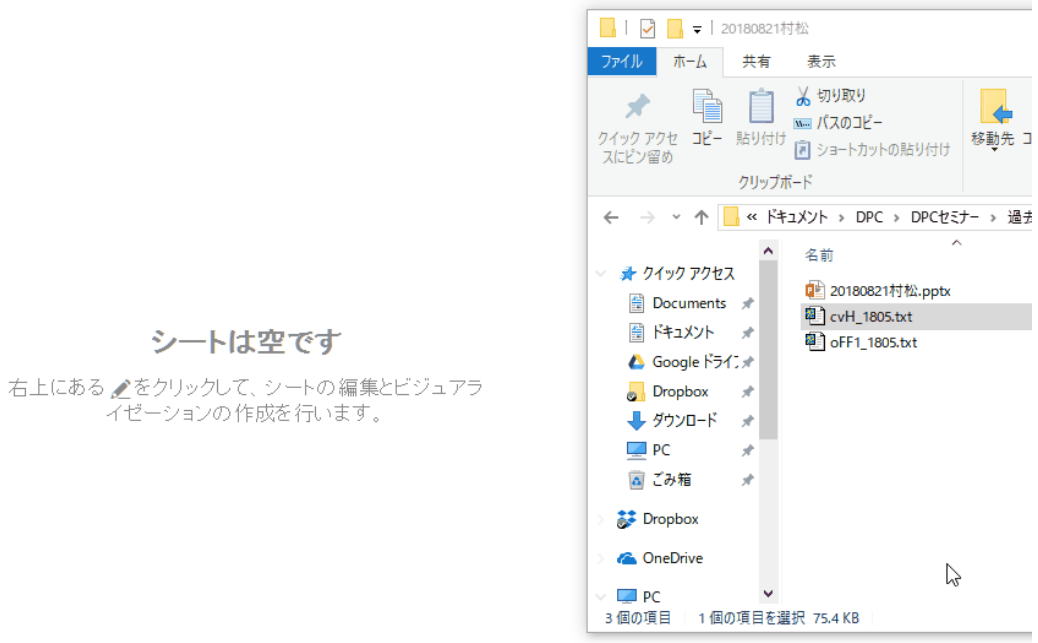
加工済み様式１の読み込み



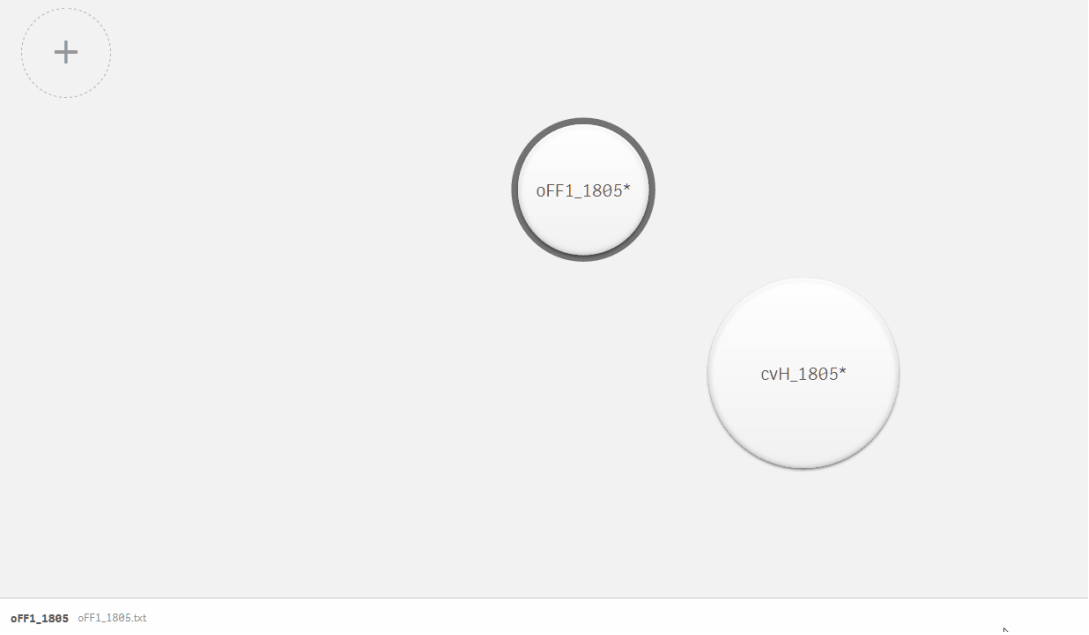
- 右上の「洞察」ボタンをクリックして、洞察モードを解除します

加工済みHファイルの読み込み

- そのまま「データの追加」ボタンをクリック

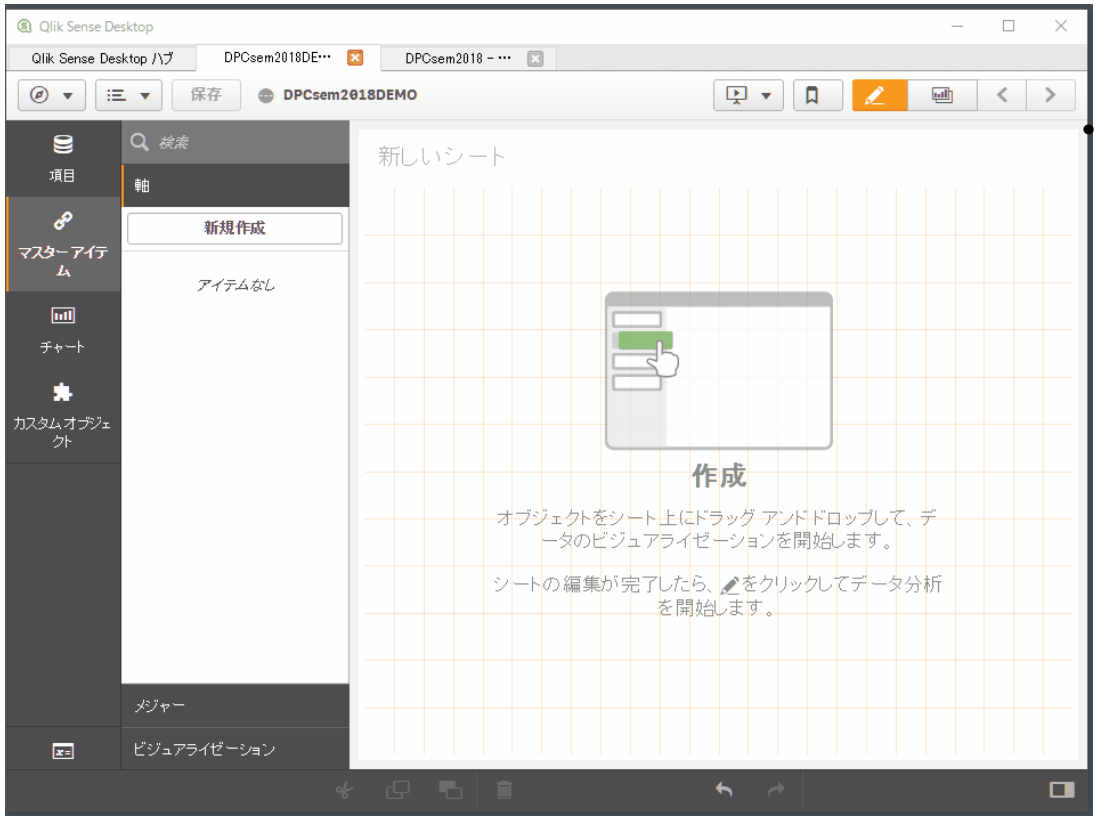


テーブルの結合



- テーブルを関連付ける項目の指定が終わったら「関連付け」をクリック
  - 「データ識別番号」と「入院年月日」で結合
- その後「データのロード」をクリック
- その後「シートを編集」をクリック

変数の作成

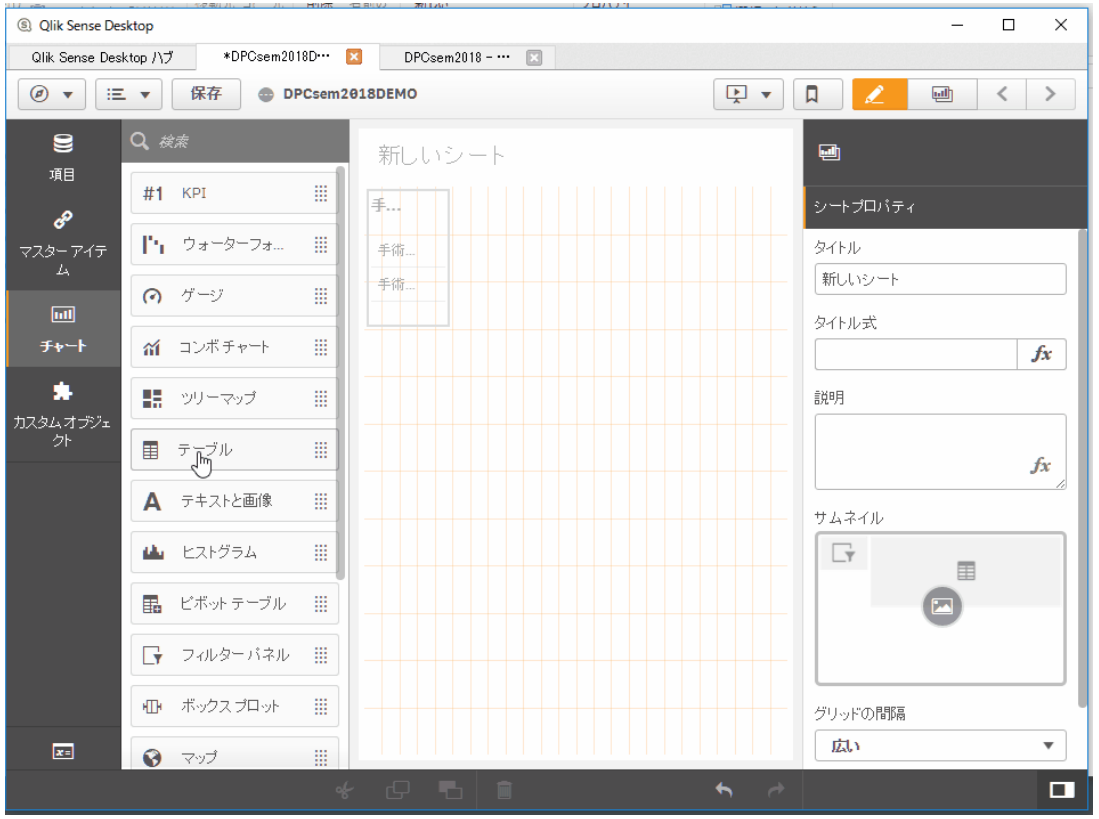


- 軸
  - 手術有無
    - =if([5(3)手術1点数表コード] = '','手術なし','手術あり')
  - 入院相対日
    - =[実施年月日.autoCalendar.Date]-[入院年月日.autoCalendar.Date]+1
- メジャー
  - 入院エピソード数
    - count(distinct[2(1)データ識別番号]&[3(3)入院年月日])
  - 平均在院日数
    - avg([3(4)退院年月日.autoCalendar.Date]-[3(3)入院年月日.autoCalendar.Date]+1)

フィルターパネルの作成

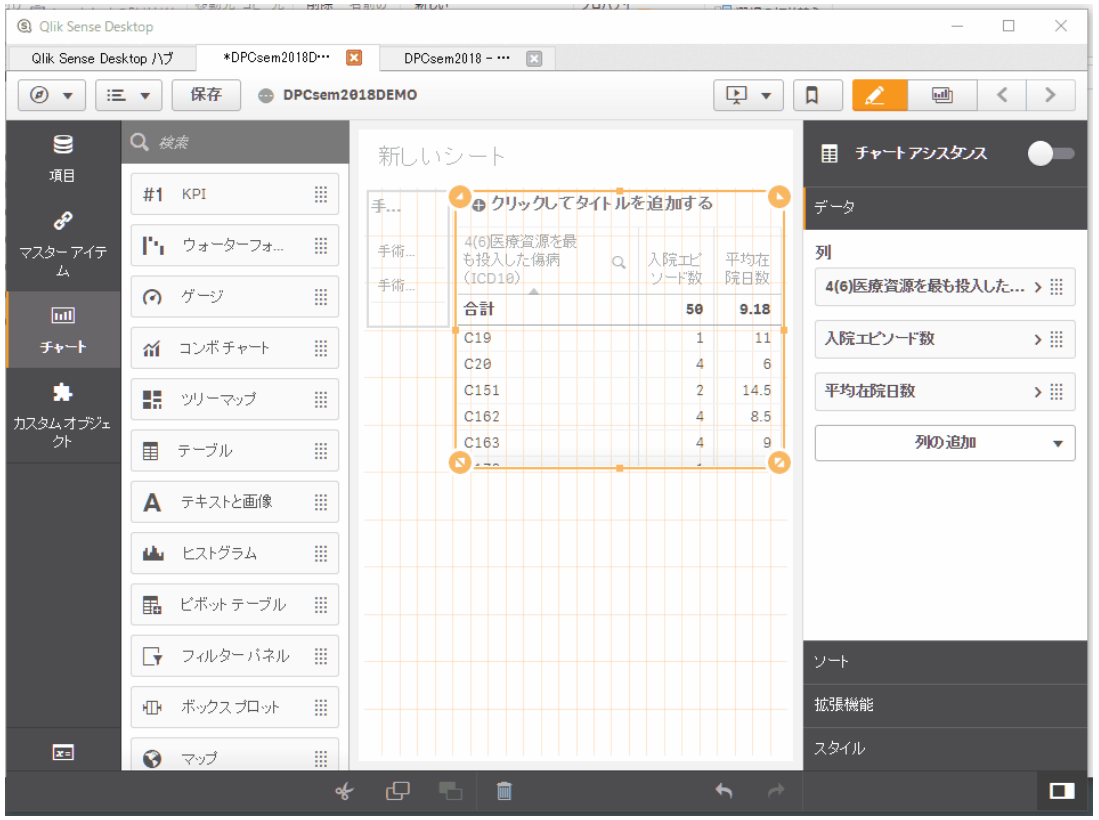
- 「フィルターパネル」をドラッグ後、手術有無をドラッグ

表の作成



- テーブルをドラッグ後、医療資源を最も投入した傷病名のICD10と、作成したメジャー２つをドラッグ

グラフの作成



- コンボグラフをドラッグ後、軸に入院相対日を、棒グラフのメジャーに入院エピソード数を、折れ線グラフのメジャーに重症度判定の合計を設定